

## ニーズと福祉計画の課題

## 調査結果でのニーズ

## 地域福祉分野

- ・近所づきあいは少ないが、地域で安心して生活していく住民相互の協力が必要と考える人が多い。(一般市民調査)
- ・現在地域活動をしていない人も、環境や条件が整えば地域活動に参加できると考える人が多い。(一般市民調査)
- ・地域福祉活動の担い手は、高齢化、人材不足、リーダーや後継者の不足などに困っている。(担い手調査)

- ・相談できる体制に対する満足度が低い。(一般市民調査)
- ・市民の情報提供、問題の発見・集約、さまざまな分野の支援者の連携が必要である。(グループインタビュー)

- ・地域では、近隣住民同士の交流の減少、日中独居の高齢者・障害者が問題になっている。(担い手調査)
- ・支援を必要としているにも関わらず、適切な支援・福祉サービスに結びつかない人がいる。(グループインタビュー)

- ・地域の防災対策に対する満足度が低い。(一般市民調査)
- ・災害時には、市民や企業と行政との協働により、住民同士の声掛けや安否確認等が求められている。(一般市民調査、担い手調査、共通質問)

- ・情報案内のバリアフリー化は建築物や道路・交通機関等に比べてあまり進んでいないと感じる人が多い。(一般市民調査)

## 高齢者福祉分野

- ・高齢者は就労している人が多く、また、地域活動に参加していない人が多いが、過半数の人が若い世代との交流を希望している。(アンケート調査)
- ・第2号被保険者も地域活動への参加は低調だが、3割近くが活動したいと考えている。(アンケート調査)
- ・介護予防対象者も地域活動へのニーズが高い。(アンケート調査)
- ・新旧住民の交流、戸建・集合住宅での地域交流には、地域特性に沿ったアプローチが大切。(グループインタビュー)

- ・前回調査よりも日中独居の方の割合が高くなった。居宅サービス利用者の4割が認知症の診断有。地域包括支援センターの認知度は5割であった。(アンケート調査)
- ・いざとなった時に、サービス等の情報について、一か所で何でもわかる窓口があるとよい。(グループインタビュー)
- ・ケアマネジャーが充実が必要と感じる地域支援は、通院介助やごみ出し等の家事援助。(アンケート調査)

- ・在宅で介護を受けたい人は多いが、他方介護施設の希望が強く安心できる介護環境が求められている。(アンケート調査)
- ・医療と介護の連携には、顔の見える関係づくり、在宅療養支援窓口、医療介護の拠点整備、後方支援病床等の仕組みが期待されている。(アンケート調査)
- ・事業者の抱える課題は「人材の確保」。(アンケート調査)

- ・認知症には8割強が関心をもっており、半数が話題にしている。2割近くが認知症の介護経験者。(アンケート調査)
- ・サービス利用者未利用者は、災害時の不安は「自宅近くの避難場所がわからない」こと。(アンケート調査)

- ・住み続けられる住まい、まちなかへの高齢者の住まいの整備を希望する。(グループインタビュー調査)

## 障害者福祉分野

- ・近所づきあいがいない人もいるが、災害時には地域住民同士の関係が重要だと考えている人が多い。地域交流を進めるための取り組みが必要である。(障害のある人、難病のある人調査)

- ・相談機関の情報提供、分かりやすい相談体制が求められている。(障害のある人、難病のある人、障害者福祉団体調査)
- ・ライフステージにあった障害の発見から就労定着まで継続した支援が求められている。(グルイン)

- ・就労機会の創出、定着のための支援、企業等への意識啓発が求められている。(障害のある人調査)
- ・障害福祉サービス事業者は、収益、人材面に関する不安等様々な課題を抱えている。(事業者調査)

- ・災害時要援護者支援の具体的な検討、対象者の再検討、障害に応じた避難所の検討が求められている。(障害のある人、難病のある人、福祉団体調査)
- ・防犯に関する施策の検討が求められている。(障害のある人)

- ・市民がノーマライゼーションへの理解があると回答する割合が下がっていることもあり、障害に対する理解を進める取り組みが必要である。(障害のある人、難病のある人調査、グルイン)

## 福祉計画の課題

## 地域づくり

## ◆コミュニティを活性化する

- ・地域の人が気軽に集まる場づくり (サロンなど)
- ・町内会・自治会を中心とした交流活動の推進
- ・地域活動に関する情報提供の充実

## ◆市民との協働を進める

- ・担い手の育成、地域リーダー育成プログラムの設置
- ・日中独居の高齢者・障害者のみまもり・支援

## しくみづくり

## ◆地域の問題を集約し、適切な支援につなぐ

- ・相談窓口のワンストップ化
- ・さまざまな分野の横断的な連携・調整
- ・市民の“気づき”を専門機関につなぐしくみづくり (地域福祉コーディネーターの配置など)

## ◆日常生活を支援するしくみづくり

- ・生活支援サービスの充実
- ・高齢者・障害者の日中活動・就労などの支援

## ◆制度のはざまにある人を支援する

- ・支援が必要だが、適切な支援・福祉サービスに結びつかない人への支援

## ◆福祉サービス事業者を支援する

- ・サービス事業者への支援 (福祉人材育成・定着支援)

## 地域包括ケアの充実

## ◆地域での生活支援・ケア体制の充実

- ・介護予防の推進
- ・日常生活支援
- ・医療・介護の連携
- ・就労支援
- ・認知症の方の支援
- ・予防給付の移行
- ・家族介護者支援
- ・住まいの整備
- ・医療的ケアの充実

## まちづくり

## ◆安心・安全への備えをする(防災・防犯)

- ・災害時における地域住民同士の声掛けや安否確認
- ・避難場所に関する情報提供
- ・災害時要援護者支援

## ◆住み慣れたまちで暮らし続ける環境をつくる

- ・バリアフリーのまちづくり
- ・住まいの困りごとへの支援
- ・認知症への理解と地域での支援
- ・成年後見制度の利用支援

## 意識づくり

## ◆共生社会・地域福祉に対する共感を高める

- ・市民に対する啓発・普及
- ・ノーマライゼーション (障害に対する理解の促進)
- ・高齢者・障害者・子どもに対する虐待の防止